

原料費調整(スライド)制度に基づく

平成18年4月～6月のガス料金について

平成18年1月30日
北陸ガス株式会社

北陸ガスは、「原料費調整(スライド)制度」に基づいて、平成18年4月～6月検針分に適用される従量料金単価の見直しを行いました。

その結果、別紙のとおり、平成18年1月～3月検針分に比べて従量料金単価を**1 m³あたり+1,459.5円(税込)調整**させていただくこととなりました。

なお、新潟市黒埼地区については、ガス料金をはじめとして新潟・長岡地区と同様の「供給約款」の適用について関東経済産業局に現在認可申請中であり、認可を受けたのちには平成18年4月1日以降のガス料金が新潟・長岡地区と同一となります。

今回のガス料金の調整は、平成17年10月～12月のLNGおよびプロパン平均価格(貿易統計値)により算定された平均原料価格が、前期(平成17年7月～9月)との比較で上昇したことによるものです。

なお、平成18年4月～6月検針分に適用する料金につきましては、弊社の本社および支社等の店頭での掲示や、検針時に各戸にお届けする「ガス使用量のお知らせ(検針票)」などで、お客さまにお知らせいたします。

以上

<問い合わせ先>
北陸ガス株式会社
総合企画グループ
TEL 025-245-2214

< 別紙 >

料金表 (平成18年4月～6月)

一般契約早収料金 (各月のご使用量に応じてA・B・C・Dいずれかの料金表が適用されます)
現行の従量料金単価(平成18年1月～3月検針分)と比較した場合、1m³あたり+1,459.5円(税込)の調整となります。
 なお、基準従量料金単価に対して+3,465円(税込)調整して料金を算定いたします。

	月間使用量区分	基本料金	従量料金 (1m ³ につき)		
			H18.4月～6月	基準従量料金単価	H18.1月～3月
料金表A	0～20m ³ まで	546.00円 (520円)	112,140円 (106.80円)	108,675円 (103.50円)	110,680円 (105.41円)
料金表B	20m ³ 超～100m ³ まで	817.95円 (779円)	98,542.5円 (93.85円)	95,077.5円 (90.55円)	97,083円 (92.46円)
料金表C	100m ³ 超～350m ³ まで	972.30円 (926円)	96,999円 (92.38円)	93,534円 (89.08円)	95,539.5円 (90.99円)
料金表D	350m ³ 超～	3,133.20円 (2,984円)	90,825円 (86.50円)	87,360円 (83.20円)	89,365.5円 (85.11円)

下段()内は税抜
 基本料金は変わりません

【ガス料金の計算式】

ガス料金 = [基本料金(税抜) + ガス使用量 × 従量料金単価(税抜)] + [消費税等相当額]
 [] 内で円未満を切り捨てます

現行の黒埼地区供給約款料金(37.9674735 ㏈ｼﾞｭｰﾙ/m³)は下表のとおりですが、平成18年4月1日以降は、上記の料金表が適用されます。

	月間使用量区分	基本料金	従量料金 (1m ³ につき)
料金表A	0～25m ³ まで	420.00円 (400円)	78,750円 (75.00円)
料金表B	25m ³ 超～250m ³ まで	493.50円 (470円)	75,810円 (72.20円)
料金表C	250m ³ 超～	990.15円 (943円)	73,825.5円 (70.31円)

モデル家庭における影響

1ヵ月のご使用量	H18.4月～6月 適用料金	H18.1月～3月 適用料金	増減額	増減率
50m ³	5,744円/月 (5,471円/月)	5,672円/月 (5,402円/月)	+72円/月 (+69円/月)	+1.27% (+1.28%)

モデル家庭とは、月間のガスご使用量が50m³のご家庭をいいます
 下段()内は税抜

(参考) 黒埼地区モデル家庭の場合 (月間ガスご使用量が50m³(41.8605 ㏈ｼﾞｭｰﾙ/m³))

	ガス料金 (税込)
H18.4月～6月 適用料金	5,744円/月
現行黒埼地区適用料金	4,672円/月

「現行黒埼地区適用料金」は、新供給約款による熱量に換算した従量料金単価79.60円(税込83.58円)を使用し計算しております。

お客さまへの周知

- 原料価格につきましては、当社一般ガス供給約款に基づき、当社の本社および支社等の店頭において掲示いたします。
- 個別のお客さまには、見直し後の従量料金単価を検針時に各戸にお届けする「ガス使用量のお知らせ(検針票)」などで、あらかじめお知らせいたします。

平均原料価格と調整単位料金の算定について

	H17.10月~12月 原料価格	(基準原料価格)	(H17.7月~9月 原料価格)
LNG平均価格(貿易統計値)	39,790 円/t	29,940 円/t	35,790 円/t
プロパン平均価格(貿易統計値)	62,070 円/t	42,830 円/t	47,500 円/t
平均原料価格	40,330 円/t	30,260 円/t	36,100 円/t

平均原料価格の算定

$$\begin{aligned}
 < \text{平均原料価格} > &= \text{LNG平均価格(平成17年10月~12月貿易統計値)} \times 0.9807 \\
 &\quad + \text{プロパン平均価格(平成17年10月~12月貿易統計値)} \times 0.0210 \\
 &= 39,790 \text{ 円/t} \times 0.9807 + 62,070 \text{ 円/t} \times 0.0210 \\
 &= 40,325.523 \text{ 円/t} \\
 &\quad \text{(10円未満四捨五入)} \\
 &40,330 \text{ 円/t}
 \end{aligned}$$

原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned}
 < \text{原料価格変動額} > &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \\
 &= 40,330 \text{ 円/t} - 30,260 \text{ 円/t} \\
 &= 10,070 \text{ 円/t} \text{ [1,510円(調整バンド)を超えているため調整します]} \\
 &\quad \text{(100円未満切捨て)} \\
 &10,000 \text{ 円/t}
 \end{aligned}$$

調整単位料金(1m³あたり)の算定

$$\begin{aligned}
 < \text{調整単位料金} > &= \text{基準単位料金(税抜)} + 0.033 \text{ 円} \times \text{原料価格変動額} / 100 \text{ 円} \\
 &= \text{基準単位料金(税抜)} + 0.033 \text{ 円} \times 10,000 \text{ 円} / 100 \text{ 円} \\
 &= \text{基準単位料金(税抜)} + 3.30 \text{ 円}
 \end{aligned}$$

小数点第3位以下の端数は切り捨て

原料価格の変動100円につき、従量料金単価を1m³あたり0.033円調整します。

上記計算の結果、

基準従量料金単価に対し、1m³あたり+3.4650円(税込)[+3.30円(税抜)]調整します。

現行の従量料金単価(平成18年1月~3月検針分)と比較した場合、1m³あたり+1.4595円(税込)の調整となります。

原料費調整(スライド)制度の概要

LNGおよびプロパン原料価格の変動に応じて、3ヵ月ごとにガス料金の従量料金単価を調整する制度です。

「基準平均原料価格(30,260円/t)」と「平均原料価格(3ヵ月ごとのLNGおよびプロパン平均価格(貿易統計値)により算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、1m³当たり0.033円従量料金単価を調整します。

料金の小幅かつ頻繁な調整や、大幅な変動を避けるための仕組みを設けています。

- ・「平均原料価格」と「基準平均原料価格」との差額が、1,510円(調整バンド)以内であるときは、ガス料金の調整は行われません。
- ・「平均原料価格」が、48,420円(上限値)を超えた場合には「平均原料価格」は48,420円であるとしてガス料金の調整を行います。

1月～3月の3ヵ月間の原料費変動結果を7月～9月検針分に反映します。

4月～6月の3ヵ月間の原料費変動結果を10月～12月検針分に反映します。

7月～9月の3ヵ月間の原料費変動結果を翌年1月～3月検針分に反映します。

10月～12月の3ヵ月間の原料費変動結果を翌年4月～6月検針分に反映します。